

印象記：2019年放射線管理講習会に参加して

武蔵野赤十字病院 荒井 一正

2019年10月6日（日）に川崎市立多摩病院で神奈川県放射線管理士部会主催の放射線管理講習会が開催されました。昨年も同施設で放射線管理講習会がおこなわれていて神奈川県放射線管理士部会の意気込みが感じられる時宜を得た内容の講習であった。

昨今、医療放射線分野では適正な放射線管理が求められている。各種法改正も3年連続で施行される予定で、各施設でも情報収集に注力していると思われる。放射線障害予防規程変更の届出、医療放射線安全管理責任者の配置、診療用放射線の安全利用のための指針の策定、線量管理の記録方法や院内研修方法の検討、水晶体被ばくの検討など検討事案は複数である。このような背景もあり今回の本研修に参加した。概ねの研修概要は、放射線被ばく相談、法改正の動向、医療安全、日本診療放射線技師会の医療被ばく低減施設認定についての4部構成であった。

【医療被ばく相談への対応】

山内病院 放射線科 後藤 慎一 先生

放射線被ばく相談については、【傾聴】【共感】【受容】のキーワードが耳にのこる。被ばく相談者は、相談内容をよく聞いて理解し相談者にわかりやすく・正しく説明することが大切であり、人に正しく説明するには豊富な知識が必要である。以上のような内容がとてもわかりやすく解説いただき参加者の参考になる内容であった。

【医療安全とシステムのレジリエンス】

横浜市立大学附属市民総合医療センター 中村 京太 先生

昨年に引き続き医療安全の講演は中村先生であった。とにかく講演がうまくておもしろいので講演を聞いていない人は一度聞いてみることをお勧めする。医療安全の難しい言葉を自施設の事例を使用してわかりやすく教えていただいた。今回のシステムのレジリエンス（変化に対応する能力）は Safety I（従来型の医療安全、ダブルチェックの根性論）と Safety II（レジリエンス・エンジニアリング変動と制約のもとで物事がうまく行われる。日常の多くの成功例を分析し安全かつ効率的な業務になるように調整する）をご教示いただいたが、Safety I だけで考えるとうまくいかないという講演内容に共感した。次回も中村先生の医療安全の講演をお聞きしたいなと感じる講演内容であった。

【医療法改正を見据えた診療放射線技師の期待と役割】

NOGUCHI-コンシェル 野口 雄司 先生

野口先生は診療放射線領域で著名な先生であり、一度は講演をお聞きになった方も多いと思われる。毎回、多くの最新資料を提示して行政の動向についてお話いただけるので今後の診療の方向性にとっても参考になる講演であった。今回の講演で気になった事項は、医療政策のひとつで厚労省が、病院の再編・統合などを検討しており、全国424病院の名前をリスト化し公表した事実背景をお話いただいた。2025年までに医療体制の変革をするという

厚労省の意欲を感じる内容で、正直、目前の法改正より気になった。

今回の野口先生の講演は、DVD 資料まで配布され、大変お得な講演であった。

【医療法施行規則改正に基づく現場での対応】

聖マリアンナ医科大学病院 佐藤 寛之 先生

佐藤先生の講演は、自施設の具体的な対応のご講演であった。当院は、医療安全管理責任者が 2019 年 10 月現在まだ決まっていないが、「聖マリアンナでは医療安全管理責任者は、放射線科の教授です。」と、もう決まっております、対応が早いなと思った。また、講演はとてもわかり易く解説していただけるので何回聞いても聞きやすい講師である。当方の医療被ばく低減施設認定の相談をさせていただいている先生で日頃より大変お世話になっている先生ですのでこの場をお借りして感謝申し上げたい。

【医療被ばく低減施設認定の意義とポイント】

石和共立病院 佐藤 洋一 先生

佐藤先生の講演は、医療被ばく低減施設認定を多くの施設に参加いただきたける様にやわらかい口調でお話されながらも情熱を感じる内容であった。具体的に医療被ばく低減施設認定の取得を目指されるご施設は、一度、佐藤先生にご相談されることをお勧めする。施設での認定取得の手順について、わかり易いお話がきける。個人的にも日本診療放射線技師会の医療被ばく低減施設認定施設の取得内容は、今回の医療法施行規則改正に近い考えなので各施設で取り組む必要があると感じている。

【医療被ばく低減施設認定への取り組み】

聖マリアンナ医科大学病院 加藤木 圭一 先生

加藤木先生の講演は、医療被ばく低減施設認定の準備から審査まで聖マリアンナで実施した内容であり、医療被ばく低減施設認定の準備をしている施設の参考になる。正直、大きい施設になるほど資料の準備が大変である。当院も医療被ばく低減施設認定の仲間入りをはたせるといいのだが？

最後になるが、本講習会を企画、運営していただいた神奈川県放射線管理士部会の皆様、執筆の機会を頂いた済生会横浜市東部病院の橋本様、会場の提供をしてくださいました川崎市立多摩病院の関係者の皆様に心より感謝申し上げます。今後も講習会の継続を楽しみにしている。